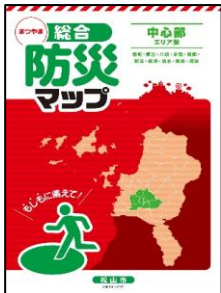







3	みんなで助け合い、安心して暮らせる松山をつくります	1	いざというときに助け合うため、これまで築いてきた地域防災体制や災害の教訓を生かし、地域防災力をさらに高めます。小学生から高齢者まで切れ目のない防災リーダーを育成するなど、官民学が一体になって、将来にわたる地域防災の担い手を確保します。
---	---------------------------	---	---

取組	地域防災力の向上	担当	防災・危機管理課、農林土木課(消)総務課、予防課、通信指令課
----	----------	----	--------------------------------

実績	<p>● 地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織結成率100%を維持 タウンミーティングや自主防災組織の研修会の場などで、家具転倒防止対策を啓発 市民をはじめ、防災関係機関、民間協力団体・事業所など一体になって、様々な防災訓練や研修会を実施しながら連携を強化 <p><受賞></p> <ul style="list-style-type: none"> 高浜地区自主防災連合会が平成31年度土砂災害防止功労者表彰を受賞(R1.6) 松山市消防団と地区自主防災連合会が令和元年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞(R1.9) <p>● 防災計画・防災マップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年7月の西日本豪雨災害を受け、令和元年5月に「土砂災害ハザードマップ」を作成し、令和元年6月に、山間部地域の世帯や事業所に配布 「災害時受援計画」を策定するとともに、「地域防災計画」を改正(R1年度) 「まつやま洪水ハザードマップ」、「高潮ハザードマップ」を発行(R2年度) 「まつやま総合防災マップ」、「マイ・タイムラインシート」を作成し、全ての世帯に配布(R3年度) 貯水量10万トン以上の防災重点ため池(市内27池)すべてで、災害発生前にとるべき防災行動計画をため池管理者と協働で作成(R2～3年度) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>複数のハザード情報を1冊にまとめた「まつやま総合防災マップ」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自分や家族の防災行動計画を整理できる「マイ・タイムラインシート」</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>● 消防用給油施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時等で燃料が不足する事態に備えるため、中央消防署城北支署と南消防署東部支署に消防用給油施設を整備し、運用開始(R3.8) <p>● 松山圏域消防指令センターの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 松山、伊予、東温の3消防本部で「消防指令事務協議会」を設立(R3.9) ※県内初 <div style="text-align: center;">  <p>消防指令事務協議会調印式(R3.8)</p> </div>
----	---

取組	地域防災の担い手の確保	担当	防災・危機管理課 予防課										
実績	<p>● 防災士</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災士数全国1位を堅持 ※13年連続 ・ 愛媛大学、愛媛県と連携して「防災士養成講座」を開催 <table border="1" data-bbox="359 383 1173 450"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災士養成数</td> <td>186</td> <td>234</td> <td>182</td> <td>235</td> </tr> </tbody> </table>				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	防災士養成数	186	234	182	235
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度								
	防災士養成数	186	234	182	235								
	<p>● 全世代型防災教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「愛媛大学防災情報研究センター、東京大学復興デザイン研究体及び松山市の防災連携に関する協定」を締結(H31.3) ・ 産官学民が参加した「松山市防災教育推進協議会」を設立(R1.5) ・ 愛媛大学と連携して「松山防災リーダー育成センター」を設置し、発達段階や職域に合わせた全国初の全世代型防災教育プログラムを作成(R1.10) ・ 市内小学5年生から高校生による「ジュニア防災リーダークラブ」を結成(R2.9) <table border="1" data-bbox="478 719 1173 786"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録児童生徒数</td> <td>307</td> <td>1,000</td> <td>4,740</td> </tr> </tbody> </table>				R2年度	R3年度	R4年度	登録児童生徒数	307	1,000	4,740		
		R2年度	R3年度	R4年度									
	登録児童生徒数	307	1,000	4,740									
	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイ・タイムラインを活用した「松山逃げ遅れゼロプロジェクト」を開始(R3.11～) 												
	<p><受賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」で愛媛大学防災リーダークラブが「ぼうさい大賞(大学生部門)」、ジュニア防災リーダークラブが「URレジリエンス賞(小学生部門)」を受賞(R3.12) ・ 松山市防災教育推進協議会と松山防災リーダー育成センターが「第26回防災まちづくり大賞」で「消防庁長官賞」を受賞(R4.2) ・ 松山市、松山市防災教育推進協議会、松山防災リーダー育成センターが共同で「第8回ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)」で準グランプリ・二階俊博国土強靱化提唱者賞を受賞(R4.4) ・ 松山市がCityNet「SDGsアワード」を受賞(R4.9) 												
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ジュニア防災リーダークラブの活動</p>												
	<p>● 企業の防災リーダーを養成する講習会を実施</p> <table border="1" data-bbox="383 1592 1133 1659"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数</td> <td>1,739</td> <td>1,945</td> <td>2,186</td> <td>2,434</td> </tr> </tbody> </table>				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	受講者数	1,739	1,945	2,186	2,434
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度									
受講者数	1,739	1,945	2,186	2,434									
<p>● 防災リーダークラブとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松山国際交流協会等と外国人向けの防災教室を開催(R1.6～) ・ 女性防災士、女性消防団と連携して「まつやま子育て防災ブック」を作成(R3.3) ・ 小中学校、保育園・幼稚園、福祉施設と連携して「まつやま施設版タイムライン」を作成(R4.3) ・ 地域の防災訓練や学校の防災教育で指導者として活躍し、多数の賞を受賞 													
<p><受賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」で「ぼうさい大賞(大学生部門)」を受賞(R3.12) ・ 2022年防災士表彰「防災士功労賞」を受賞(R4.3) ・ 令和4年度優良青少年団体及び青少年知事表彰を受賞(R4.6) 													

3	みんなで助け合い、安心して暮らせる松山をつくります	2	地域包括支援センターの充実や、必要な医療や介護が不安なく受けられる環境の整備など、住み慣れた地域でお互いに見守り、支え合える仕組みをつくります。
---	---------------------------	---	--

取組	見守り支え合う仕組みづくり	担当	市民生活課、介護保険課 高齢福祉課、医事薬事課 警防課
----	---------------	----	-----------------------------------

実績	<p>● 地域包括支援センターの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターを市内12か所と1サブセンターから、13か所と2サブセンターに増やし、専門職を増員するなど地域の相談や支援体制を強化(R4年度) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>25,504</td> <td>27,754</td> <td>30,479</td> <td>22,430</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 医療、介護関係者間で患者(利用者)情報を共有する連携ツールを作成し、さらに効果的なサービスを提供できるよう連携を強化(R1年度～) 地域包括支援センターや警察、民生児童委員協議会などの地域団体等と連携した、「松山市消費者見守りネットワーク」を組織(R2.4) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4.11末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参画団体数</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table>		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	相談件数	25,504	27,754	30,479	22,430		R4.11末	参画団体数	38
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度										
相談件数	25,504	27,754	30,479	22,430											
	R4.11末														
参画団体数	38														
<p>● 必要な医療が不安なく受けられる環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 島しょ部の消防、救急体制をさらに充実させるため、中島地区の天谷小学校跡と中島南小学校跡にヘリポートを整備(R1.7) 医療従事者を送迎する離島診療連絡船の老朽化のため、「しまどりⅡ」を新造(R3.4) 島しょ部に居住する方に、通院支援、妊婦健診等支援や透析患者通院を支援し、負担を軽減 <p>● 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的推進事業」を実施(R2年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が住み慣れた地域で健やかに暮らせるよう、保健師を中心に、医療や介護、健診結果等のデータから個人や地域にみられる健康課題等を把握・分析し、地域に向いて健康教育(フレイル予防等)を開催するなどの取組を実施 <p>健康教育の開催実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.11末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施会場数</td> <td>18</td> <td>30</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>延べ参加者数</td> <td>366</td> <td>669</td> <td>549</td> </tr> </tbody> </table>		R2年度	R3年度	R4.11末	実施会場数	18	30	43	延べ参加者数	366	669	549			
	R2年度	R3年度	R4.11末												
実施会場数	18	30	43												
延べ参加者数	366	669	549												



小学校跡地に整備したヘリポート



離島診療連絡船「しまどりⅡ」

3	みんなで助け合い、安心して暮らせる松山をつくります	3	空き家対策やリフォームのほか、木造住宅の耐震化を支援し、住環境をさらに整えます。また、西条分水を基本にした新規水源の確保など、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。																								
取組	さらなる住環境整備への支援		担当 住宅課 建築指導課																								
実績	<p>● 空き家対策、リフォーム支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽危険空家の除却工事費用を補助 <table border="1" data-bbox="432 483 1246 551"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>除却補助件数</td> <td>41</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 倒壊のおそれがある危険な空き家1件を行政代執行法に基づき解体(R1年度) 空き家を地域の交流施設に活用する改修費用の補助や空き家相談窓口の開設、全国版空き家バンクに参加するなど、新たな空き家対策を実施 <table border="1" data-bbox="469 685 951 752"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き家活用改修補助金</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 住宅のリフォーム工事費用を補助 <table border="1" data-bbox="368 819 1246 887"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リフォーム補助件数</td> <td>694</td> <td>688</td> <td>710</td> <td>731</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> まちかど講座で管理不全な空き家の発生を未然に防ぐため周知・啓発を実施 <p>● 木造住宅耐震化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震診断や耐震改修に補助 広報紙やホームページ、まちかど講座での周知や、戸別訪問するなど、自主防災組織や地域連絡協議会と協力しながら、木造住宅の耐震化の啓発を実施 <p>● ブロック塀等安全対策支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険なブロック塀等の除却や建替え費用の補助を開始(R2年度) 広報紙やホームページで、ブロック塀等の倒壊による被害の防止や避難路を確保する安全対策の周知・啓発 				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	除却補助件数	41	42	42	40		R2年度	空き家活用改修補助金	2		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	リフォーム補助件数	694	688	710	731
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度																							
除却補助件数	41	42	42	40																							
	R2年度																										
空き家活用改修補助金	2																										
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度																							
リフォーム補助件数	694	688	710	731																							
取組	新規水源の確保など		担当 水資源対策課、水道整備課 浄水管理センター																								
実績	<p>● 新規水源</p> <ul style="list-style-type: none"> 西条市の黒瀬ダムからの分水を最優先で進めることが困難となったため、新たな水源確保策の調査を実施(R1～R2年度) 調査結果をもとに、令和3年度に議会の水資源対策検討特別委員会で審議が行われ、令和4年2月に新規水源確保策として期待できる方策等が中間報告として示されたことから、これらの方策を中心に、さらなる調査検討を実施(R4年度～) <p>● 重要施設への給水ルート</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時に医療、救護活動を行う重要施設までの給水ルートの耐震化や小学校・中学校への応急給水栓の整備を推進 <table border="1" data-bbox="341 1805 1350 1906"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水ルート耐震化数(累計)</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>30</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>応急給水栓整備数(累計)</td> <td>29</td> <td>39</td> <td>48</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 給水基地の確保 災害時の効率的な応急給水につなげるため、市之井手浄水場内に、短時間で給水車に水道水を積み込める給水塔を4基整備(R3年度) 				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	給水ルート耐震化数(累計)	23	27	30	33	応急給水栓整備数(累計)	29	39	48	58									
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度																							
給水ルート耐震化数(累計)	23	27	30	33																							
応急給水栓整備数(累計)	29	39	48	58																							